

【注意事項】

R20TS0425JJ0100
Rev.1.00
2019.04.16 号

e² studio Smart Configurator プラグイン,
RX スマート・コンフィグレータ

概要

e² studio Smart Configurator プラグインおよび RX スマート・コンフィグレータの使用上の注意事項を連絡します。

1. I²C バスインタフェースをマスタモードで使用する場合の注意事項

1. I²C バスインタフェースをマスタモードで使用する場合の注意事項

1.1 該当製品

- e² studio V6.0.0 (Smart Configurator プラグイン V1.2.0)以降
- RX スマート・コンフィグレータ V1.2.0 以降

1.2 該当デバイス

- RX ファミリ :
RX110、RX111、RX113、RX130、RX230、RX231、RX23T、RX24T、RX24U、RX64M、RX651、RX65N、および RX71M グループ

1.3 内容

I²C バスインタフェースをマスタモードで使用する場合、該当製品の生成するコードで I²C バスファンクション許可レジスタ (ICFER) の SCL 同期回路有効ビット (SCLE) を“0”に設定しているため、正しく通信できない場合があります。

不具合箇所 :

```

/*****
* Function Name: R_Config_RIIC0_Create
* Description  : This function initializes the RIIC0 channel
* Arguments    : None
* Return Value : None
*****/
void R_Config_RIIC0_Create(void)
{
    ...
    * Set ICFER */
    RIIC0.ICFER.BYTE = _00_IIC_TIMEOUT_FUNCTION_DISABLE |
                      _02_IIC_MASTER_ARBITRATION_ENABLE |
                      _00_IIC_NACK_ARBITRATION_DISABLE |
                      _10_IIC_NACK_SUSPENSION_ENABLE |
                      _20_IIC_NOISE_FILTER_USED |
                      _00_IIC_FASTPLUS_MODE_DISABLE;
    ...
}
    
```

1.4 発生条件

コード生成タイプの I²C マスタモードのコンポーネントを使用する場合に発生します。

1.5 回避策

下記ソースファイルの関数で I²C バスファンクション許可レジスタ (ICFER) の SCL 同期回路有効ビット (SCLE) を“1”に設定するコードを追加してください。なお、ユーザコードエリアに追加することで内容が保護されるため、コード生成を行う度に追加する必要はありません。

- ・ ソースファイル : “<I²C マスタモードコンフィグレーション名>_user.c”
- ・ 関数 : “void R_<I²C マスタモードコンフィグレーション名>_Create_UserInit(void)”

なお、<I²C マスタモードコンフィグレーション名>は、設定する I²C マスタモードのコンポーネントにより異なります。

以下に RX64M で<I²C マスタモードコンフィグレーション名>が Config_RIIC0 (初期値) の場合の修正例を記します。赤文字の部分が修正内容です。

修正前 :

```

/*****
* Function Name: R_Config_RIIC0_Create_UserInit
* Description  : This function adds user code after initializing
*               the RIIC0 bus interface
* Arguments    : None
* Return Value : None
*****/
void R_Config_RIIC0_Create_UserInit(void)
{
    /* Start user code for user init. Do not edit comment generated here */
    /* End user code. Do not edit comment generated here */
}

```

修正後 :

```

/*****
* Function Name: R_Config_RIIC0_Create_UserInit
* Description  : This function adds user code after initializing
*               the RIIC0 bus interface
* Arguments    : None
* Return Value : None
*****/
void R_Config_RIIC0_Create_UserInit(void)
{
    /* Start user code for user init. Do not edit comment generated here */
    RIIC0_ICFER_BIT_SCLE = 1U;
    /* End user code. Do not edit comment generated here */
}

```

1.6 恒久対策

次期バージョンで改修予定です。 (2019年7月予定)

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Apr.16.19	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。